

令和4年6月

普及活動報告

京都丹波就農サポート講座 第2回開催 (7日)



黒大豆の講義

第2回講座では、普及センター職員が黒大豆及び黒大豆枝豆の栽培、小豆栽培及び排水対策、病虫害防除、鳥獣害対策について講義を行いました。

講義後には実践的な質問が活発に出され、受講生の関心の高さがうかがえました。アンケートでは、「新しく得た知識を今後活用していきたい」「排水対策の重要性が理解できた」「病虫害や農薬の基本的な知識をしっかりと持って、早期に発見し対応していきたい」等の感想が寄せられました。

普及センターは今後も分かりやすい講義を心掛け、受講生の農業基礎技術習得を支援していきます。



鳥獣害対策の講義

場 所 園部総合庁舎
出席者数 29名

令和4年度受講生：20名（就労支援事業所：3名、亀岡市：3名、南丹市：5名、京丹波町：9名）、講座回数：全7回（11月8日までの予定）

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年6月

普及活動報告

～ブランド化を目指して～京かんざし 研究会総会・研修会が3年ぶりに開催 (21日)



京かんざし研究会総会・研修会の様子

京かんざし研究会総会・研修会が開催され、播種や出荷・共選期間など今年度の活動方針について確認しました。普及センターからは、夏期の発芽安定及びアザミウマ類対策に係る調査結果等について報告しました。また、会長から京かんざしのブランド化について提案があり、協議の結果、前向きに検討を進めていくことになりました。

普及センターでは京かんざしについて、ブランド化の検討や新規生産者の確保、安定生産に向け、関係機関とともに支援していきます。

場 所 JA京都丹波支店

出席者数 26名

京かんざし生産者数：15名、出荷期間：8月～2月
生産出荷目標：日量20ケース以上

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年6月

普及活動報告

商談会へのステップアップ研修会開催

(21日)



研修会の様子

販路拡大を考える農業者を対象に、商談会への参加を促すことと、自身の経営を検討する機会にすることを目的に、商談会、FCPシート及び商談の際の心構えについて研修会を開催しました。

研修会では、京都府農業会議から「きょうと農業ビジネス商談会」を例に、自分の商品を販売するため明確にすべきことや、情報発信の手法及び商談会に使用するFCPシートについて説明がありました。

参加者からは情報発信の手法についての質問や「商談会に参加しなくても商品のPRができればいろいろな場面で役に立つと思った」という声がありました。普及センターは農業会議と連携しながら、農業者の経営の発展に向けて引き続き支援していきます。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 16名

参加者のうち5名が来年度以降の商談会参加を考えている

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年6月

普及活動報告



巡回時の様子



普及センターからの説明

賀茂なす部会がブランド共撰出荷会議を開催

(亀岡市：27日)

JA京都京野菜部会亀岡支部賀茂なす部会が令和4年度共撰出荷会議を開催され、6月28日からのブランド共撰初出荷に当たり、部会員同志で出荷規格の目合わせや意見交換が行われました。普及センターからは、事前に行ったほ場巡回でカスミカメムシの被害が認められたため、効果的な農薬の使用法や今後の病害に対する予防防除について説明しました。

普及センターは、今後も定期的な巡回を行うことで時期に応じた情報を発信していきます。

場 所 JA京都亀岡中部支店

出席者数 26名

6月27日時点 出荷人数12名、出荷日数16日、出荷数量227ケース

京都府南丹農業改良普及センター